

文化政策部会における審議状況と今後の主な課題

1. これまでの審議状況

- 平成23年2月に閣議決定された「第3次基本方針」の重点戦略に基づく施策の着実な進行管理を図ることとして、6回に亘り審議。
- 「第3次基本方針」において、諸外国におけるアーツカウンシルに相当する新たな仕組みの導入に向けた試行に関する記述が盛り込まれたこと等を踏まえ、平成23年9月、部会の下に「文化芸術への助成に係る新たな仕組みの在り方に関するワーキンググループ」を設置し、3回に亘って調査検討を行った後、同年12月に意見まとめを取りまとめ。
 - ＜ワーキンググループの主な提言内容＞
 - ・ 新たな仕組みの対象の拡大
 - ・ 新たな仕組みの体制の整備
 - ・ 新たな仕組みにおける事後評価の充実
- 平成23年3月に発生した東日本大震災により、文化芸術の各分野に甚大な被害や影響が生じ、その復旧や文化芸術の力を通じた地域の復興に向けた対応方策についても活発な意見交換を行い、6月に文化審議会意見書として提言。

2. 今後の課題

- 引き続き「第3次基本方針」の重点戦略に基づく施策の着実な進行管理を図る予定。
- その際、「第3次基本方針」において施策のPDCAサイクルの確立が重要な課題とされたことを踏まえ、今期から着手している重点戦略に基づく施策の評価手法の確立に向けた調査研究の進展と一層の連携を図る予定。